



がんサバイバーシップ研究の シーズを探してみよう

～臨床データを活用したがん看護の質改善～

がん治療成績の向上に伴い、がんサバイバーの方が増加する中、治療後の療養生活における課題が複雑化しその対応が求められるようになってきています。

昨年度は、がんサバイバーのリスクアセスメントやがん予防に関わる研究動向を概観し、臨床データから研究課題を見つけることをテーマにセミナーを開催いたしました。受講者の皆様の続編に関するご要望をもとに、今年度はがんサバイバーの社会的背景、治療内容、病勢、対処行動、就労、生活習慣などの臨床データ(ビッグデータ)によるリスクアセスメントの方法について、自施設のデータをもとに検討する機会を設定致しました。がん看護に従事される看護職の方で、がんサバイバーシップケアの質改善に関心のある方々に、是非ご参加いただければと思っております。

日時：**第1回 10月 3日(木) 18:00～19:00 (伊藤先生)**
第2回 10月 17日(木) 18:00～19:00 (伊藤先生)
第3回 11月 14日(木) 18:00～19:00 (有賀先生)
第4回 11月 28日(木) 18:00～19:00 (伊藤先生)

※**4日間参加を前提**としてお申込みください。

場所：兵庫県立大学 看護学研究科遠隔講義室(Zoom)

※アクセス先(URL とパスワード)は、以下のサイトにてお申し込みをいただいた方にメールでご連絡いたします。

対象：がん看護に携わる看護師、専門・認定看護師、
CNS コース大学院生、修了生、教員(先着 80 名)

講師：**伊藤 ゆり** 先生
大阪医科薬科大学 総合医学研究センター 医療統計室 室長・准教授

有賀 智之 先生
東京都立病院機構 がん・感染症センター都立駒込病院 外科(乳腺)・遺伝子診療科 部長

無料

■お申し込み先(事前申し込みとなります)

以下へアクセスの上、必要事項(氏名、所属、連絡先等)を、**2024年9月20日(金)**までにご登録ください。

<http://www.apnhyogo.net/seminar2/>

※登録完了次第、折り返しアクセス先など詳細をご連絡いたします。スマートフォンなどからお申し込みの場合、PCからのメール受信ができる設定にしておいてください。また定員に達し次第お申し込みを締め切らせていただくことがありますのでご了承ください。

—主催—

兵庫県立大学大学院看護学研究科 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン(責任者:川崎 優子)



■講師紹介

伊藤 ゆり(いとう ゆり)先生

2007年から大阪府立成人病センター調査部のリサーチ・レジデント、2010年から同センターがん予防情報センター疫学予防課研究員、2015年にはその主任研究員として、大阪府のがん対策に寄与する研究に従事され、2018年より大阪医科薬科大学 総合医学研究センター 医療統計室の室長・准教授として、医療統計の研究支援及び教育、研究に活躍されておられます。



公的統計、臨床データ、各種調査データを活用し、がん対策の予防・検診・医療・共生の分野に幅広く関心を持ち、研究を行っておられます。多くの賞も受賞されておられ、最近では2022年1月に第32回日本疫学学会学術総会にて奨励賞を受賞されておられます。

専門分野: 保健統計・疫学、がん登録・がん検診、健康格差、データベース研究

研究テーマ: がん対策に貢献する記述疫学研究、公的統計を用いた健康格差指標のモニタリング

有賀 智之(あるが ともゆき)先生

1997年に東京医科歯科大学医学部をご卒業、2009年に東京医科歯科大学大学院を修了され、現在は、乳がん治療・遺伝子診療を専門として、東京都立病院機構がん・感染症センター都立駒込病院の外科(乳腺)・遺伝子診療科において臨床の一线で活躍される一方、東京医科歯科大学医学部臨床准教授として教育の現場でも活躍されておられます。



日本外科学会 外科専門医・指導医/日本乳癌学会 乳腺専門医・指導医・評議員/日本遺伝性腫瘍学会 遺伝性腫瘍専門医・指導医・評議員/検診マンモグラフィ読影認定医(AS)・乳がん検診超音波判定医(A)/日本がん治療認定医機構 がん治療認定医/日本がん・生殖医療学会認定がん・生殖医療ナビゲーター/日本オンコプラスチックサージェリー学会施設責任医師

■講演内容

第1回:国内外のがんサバイバーシップ研究について紹介するとともに、研究デザインや臨床データの活用、分析方法などについて解説します(講義)。

第2回:皆さんのリサーチクエスチョンを研究計画に落とし込むために必要な視点を紹介し、ご関心の各テーマのグループごとに Discussion します(ミニ講義+演習)。

第3回:UPP(Underserved Patient Population)^{*}について、乳癌患者さんを例に臨床での課題や支援について考えます。

^{*}自身の望む適切な治療を受けられていない患者

第4回:1~3回の講義・演習の内容を踏まえ、各自の研究計画を発表し、実現可能性を高めるための Discussion を行います(演習)。

連絡先:兵庫県立大学看護学部内 がんプロ事務局

兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号

TEL:078-925-0860 FAX:078-925-0858

E-mail:ganpro29-jim@cnas.u-hyogo.ac.jp



兵庫県立大学 大学院 看護学研究科

College of Nursing Art and Science, University of Hyogo